

東京理科大学薬学部薬学科（6年制） 教員公募要領（嘱託助教）

1. 公募人員	助教（任期制）（1名）
2. 任期	任期5年（2031年3月31日まで）
3. 所属	東京理科大学薬学部薬学科（6年制）
4. 勤務地	雇入れ直後：東京理科大学 葛飾キャンパス 変更の範囲：なし
5. 業務内容	雇入れ直後：研究室の主宰教員と協働し、専攻分野についての学生の教授、その研究の指導、及び研究に当たる 但し、上記以外の業務を命ずることがある 変更の範囲：なし
6. 専門分野	生物系薬学、ウイルス学、感染分子標的学
7. 担当予定科目	基礎科目や実習などを分担
8. 着任日	2026年4月1日
9. 応募資格	着任時、博士の学位を有し、ウイルス感染症の分子標的創薬研究と教育を意欲的に進めることができる方。 生化学・分子生物学実験、細胞培養実験の経験があり、感染分子標的学研究室の教員と協調して卒業研究および大学院学生の研究・教育指導に取り組み、研究室の運営全般にも誠実に協力できる方。薬学部6年制教育に理解を持ち、薬剤師養成教育にも協力できる方が望ましい。
10. 提出書類	(1) 履歴書（本学指定様式を使用すること） https://tus.box.com/s/416copxqsa8ev5tdkfhsn2lry3kddtws (2) 教育研究等について ①研究業績リスト（学術論文、著書、外部資金の獲得状況等） ※原則として、以下の記載方法に整えること。 （ア）作成年降順に記載すること。 （イ）連名・共著の場合は、記載順に全員の氏名を記載すること。ただし、連名・共著者が多い場合は少なくとも第1著者名、他何名と記載し、自身が何番目の著者か分かるように記載すること。 （ウ）コレスポンディング・オーサー（責任著者）にアスタリスクをつけること。 （エ）自身の氏名にアンダーラインを引くこと。 （オ）研究業績リストは論文（レフリー付）、総説、proceeding（レフリー付）、その他の論文、特許、著書、招待講演、および学術集会（学会、シンポジウム・ワークショップなど）の開催などに関する実績を項目別に番号を付すこと。また、所属学会及び学会における役員、委員等の経験も記入すること。科学研究費等助成金実績として、過去10年間に ついて代表または分担を明記して、番号を付して記載すること。 ②これまでの研究概要と採用後の研究計画(A4_1枚程度) ③これまでの教育活動の実績や今後の抱負(A4_1枚程度) (3) 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先等 （氏名、所属・職位、メールアドレス、電話番号、照会可能者との関係） (4) 学位記の写し(学位取得証明書でも可) (5) 主要論文・総説等の写し（主なもの3編程度：4編目5編目は空白でも構いません） ※照会可能な方の2名の推薦書をお願いする場合があります。この場合は別途ご連絡いたします
11. 応募締切	2025年9月30日(火曜日)まで
12. 書類提出先・問い合わせ先	提出先：以下の応募フォームからご提出ください。 応募フォーム： https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_byMbG2fiYnGDO98 問い合わせ先：東京理科大学薬学部薬学科主任 西川 元也 yaku-jinji-3(at)rs.tus.ac.jp 【注】(at)は@に置き換えてください。 ※件名に「感染分子標的学 助教採用の問い合わせ」と入力して送信願います。
13. その他	・ 本学及び学部・研究科等の求める教員像及び教員組織の編成方針を以下URLからご確認ください。 https://www.tus.ac.jp/about/university/editorial_policy/ ・ 東京理科大学では、女性人材を積極的に育成、活用し、活躍を支援する大学となることを目標としています。女性の積極的な応募を期待します。 女性教員活躍支援のための方策（妊娠・出産なさった方、育児・介護等に取り組む方へ、仕事との両立を支援する各種制度等）について以下URLよりご確認ください。 - ダイバーシティ推進会議： https://www.tus.ac.jp/tcw/ ・ 育児・介護休業等取得の期間及び本学における過去の雇用状況によっては、任期延長の特例が適用される場合があります。 ・ 研究目的での海外の大学や研究機関への一定期間の滞在を支援する「在外研究員制度」を実施しています。 ・ 東京理科大学キャンパス内は指定場所以外、禁煙となっております。 https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/academy/nosmoking/ ・ 面接に伴う交通費等は、応募者の自己負担となります。